

表6 各圏域における小児医療重点化病院

	二次医療圏	重点化病院名
I	南 渡 島	函館中央病院 市立函館病院
	南 檜 山	
	北 渡 島 檜 山	
II	札 幌	
III	後 志	北海道社会事業協会小樽病院
IV	南 空 知	岩見沢市立総合病院
V	中 空 知	砂川市立病院
VI	西 胆 振	日鋼記念病院 市立室蘭総合病院
	東 胆 振	苫小牧市立病院 王子総合病院
VII	日 高	
	北 空 知	深川市立病院
	上 川 中 部	市立旭川病院 JA北海道厚生連旭川厚生病院
	富 良 野	北海道社会事業協会富良野病院
VIII	留 萌	
	上 川 北 部	名寄市立総合病院
IX	宗 谷	市立稚内病院
X	北 網	総合病院北見赤十字病院
	遠 紋	JA北海道厚生連遠軽厚生病院
XI	十 勝	JA北海道厚生連帯広厚生病院 北海道社会事業協会帯広病院
	釧 路	総合病院釧路赤十字病院 市立釧路総合病院
XII	根 室	

※ 札幌圏については、病院、小児科医師ともに充足しており、必要性が低いことから重点化病院は選定しない。

いる。

小児科勤務医の勤務環境の改善と、安全・安心な小児医療の確保を図るため、二次医療の拠点病院として、地域に必要な特定分野の小児医療や、新生児医療を担う病院を重点化病院として選定する。小児二次救急医療体制として小児救急医療支援事業、小児救急医療拠点病院運営事業を整備している13圏域を、まずは重点化の圏域として設定する(表6)。なお、将来的には重点化病院は、第二次保健医療福祉圏単位で選定されることが望ましいことを掲げている。

### 第7章 計画の推進と評価

本計画はインターネットを活用して公表するほか、各保健所で閲覧できる。4疾病5事業に関する医療機関名は、定期的に情報を収集し、可及的最新情報を道民に提供する。また、今回の計画の特徴は、4疾病5事業に加え、在宅医療や歯科保健医療に目標が設定されていることであるが、各施策の進捗状況や数値目標の達成状況を把握、検証するとともに、5年以内に評価を行い、必要があると認めたときは、計画の見直しについて検討することになっている。

## 平成20年春の叙勲・褒章受章者（北海道医師会員）

先般、平成20年春の叙勲・褒章受章者が発表され、当会会員で以下の方々が叙勲の榮譽に浴されました。ここに受章者の方々のご功績をたたえ、謹んでご芳名を掲載させていただきます（敬称略）。受章者各位には、心からお祝いを申し上げます。

◇旭日小綬章

飯塚 弘志 元北海道医師会長  
保健衛生功労

◇旭日双光章

増田 一雄 旭川市医師会長  
警察管理運営功労

◇瑞宝双光章

稲積 文子 旭川市医師会会員(現学校医)  
学校保健功労

◇瑞宝双光章

笹出 千秋 元北海道苫小牧保健所長  
保健衛生功労

◇瑞宝双光章

三上 清一 苫小牧市医師会会員(現警察嘱託医)  
警察協力功労